

いこもの風

瀬戸内町立伊子茂小学校 児童数						総計	平成28年 6月28日現在
1年	2年	3年	4年	5年	6年	8名	
0	1	1	2	4	0		

【6月号】 平成28年6月29日発行 伊子茂小学校 TEL76-0018

「子供と向き合う」 校長 田中 竜太

北海道七飯町の7歳男児置き去り事件は、奇跡的に「無事発見」という最良の結末を迎えることができました。今回の父親の対応に対する「気持ちは十分に分かる」「いや、やり過ぎだ」という賛否の声は、予想以上のものとなりました。退院時、バツの悪そうな表情で手を振る男児の姿が今でも頭から離れません。6月9日付け南日本新聞「ひろば欄」には、娘を木にくくりつけた自分の過去の対応を悔いる高齢の父親の懺悔が綴られており、同じ月の19日には当事者の娘(41)から、「確かに厳しかったが木にくくりつけられてはいない。今は感謝の気持ちでいっぱいだ。」という投稿が掲載されていました。



現在、学校で重要性が指摘されるものの一つに、「子供と向き合う時間の確保」があります。生徒指導の会議や研修のため、子供をさっさと下校させる状況がどの学校でも見られるが、問題を抱えた子供のため、一対一で話を聞くことの方が効果的な場合もあるのではないのでしょうか。そこで「子供と向き合う」とはどういうことか一考してみました。一次産業、華やかなりし頃、家族総出で田畑に出向き、難儀ではあるけれど家族が生きていくために欠かせない農作業に皆で取り組む姿がみられました。耕運機や田植え機、稲刈り機を巧みに操る父親の姿、10時や3時のお茶、お昼の支度で合間を縫って奔走する母親の姿は、子供にとって十分尊敬に値するものだったと記憶しています。難しいことではありません。家族のため、人のため家族総出できつい作業を乗り越えていく体験こそ、現代の家族に求められている姿ではないのでしょうか。(ディズニーランドへの家族旅行だけではないのです。)昔はそれが当たり前の家族の日常でした。現代は意図的にそういう場を設定していかないといけない時代です。ボランティア活動だったり、地域の奉仕作業だったり…。

最後に今回の父親に言いたい。「あなたはあなたなりに一生懸命思案した挙句の行動でした。『ならぬものはならぬ』決してひるまないでほしい。体罰という安易な方法に頼っただけ、ボタンを掛け違えただけのことだった。手始めに、家族全員でお世話になった自衛隊施設の清掃に取り組んでみては。」と。

＜魚、さかな、サカナ、魚をさばくと～♪＞

6月11日(土)、土曜授業と家庭教育学級合同開催事業として、「魚のさばき方教室」がありました。尾崎PTA会長さんが関わりのある瀬戸内漁協が進める「魚食普及活動」を活用したもので、漁協関係者を含め、総勢30人余りの賑やかな活動となりました。



会場の家庭科室には近海で獲れたタカサゴが、子供たちに一人一匹ずつ用意され、実演を見させていただいた後、各自マンツーマンの指導を受けながら、三枚おろしに挑戦しました。初めはぎこちな

かった子供たちも、コツを教えてもらいながら、全員が時間内に終えることができました。「初めてやってみた。むずかしかったけど、家でもまた挑戦してみたい。」という声が多く聞かれました。特別メニューも登場して、身も心も満足の日となりました。(この模様は「南海日日新聞」「南日本新聞」に掲載されました。)

＜2・3年で研究授業を実施＞

6月13日(月)5校時、本年度初めての研究授業を実施しました。本年度の研究テーマは「特別支援教育の視点を取り入れた学習指導法の研究～個に応じた指導を通して～」。

複式学習という形態の中で、一人一人の教育的ニーズをいかに把握し、困難をどのような形で改善していくかがポイントです。2年生は「とけい」3年生は「3位数-3位数の計算」の学習でした。二人とも複式学習を始めてまだ2か月、担任の北村教頭が抜ける間接指導時の動きはぎこちないものの、直接指導の場面では様々な支援を受けながら、自分の考えを明確にして話す活動に取り組みました。子供たちの集中力をいかに持続させるかが一つの課題であることが授業研究の中で出されるとともに、子供たち自身に複式学習の技能を一つずつ身に付けさせていくことも重要であることを確認し合いました。



＜島内5校で合同修学旅行＞

5月31日(火)～6月2日(木)に、島内5校合同で修学旅行を実施しました。島内では極小規模校が多い中、年間を通し様々な形で集合学習を実施し、他校の児童や職員と交流を深めています。その一環として、今回5・6年生が一堂に会し、鹿児島市内や南九州市等を見学して回りました。主な見学先はNHK鹿児島放送局、かごしま環境未来館、知覧特攻平和会館の3つと、鹿児島市内自主研修です。

久しぶりの対面に初めは緊張の面持ちでしたが、そこは現代っ子、同じ学校の児童のように楽しく活動ができていました。今後も色々な交流を通し、お互いに刺激し合い、共に伸びていってほしいと思います。



【7月の行事予定】

- 1日(金) 海岸清掃ボランティア
- 3日(日) 奄美シーカヤックマラソン I N加計呂保
- 4日(月) 大島養護学校巡回相談
- 5日(火) 水泳練習②③
- 6日(水) 学級PTA、学校保健委員会
- 9日(土) 伊子茂湾横断遠泳大会(土曜授業)
- 15日(金) クラブ活動
- 18日(月) 「海の日」
- 19日(火) 児童集会
- 20日(水) 終業式・大掃除
- 21日(木) 夏休み(～8/31)



ゴールデンシャワーの花



職員室前に可憐に咲いたゴールデンシャワーの花が、今、話題になっています。なかなか満開とまではいきませんが、その清純な美しさは教児共に認めるところ…。先日の強風で散ってしまうのではとハラハラしましたが、意外とたくましさも備えているようで。